

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成23年1月31日

支出負担行為担当官

福岡高等裁判所事務局長 平 田 豊

1 工事概要

- (1) 工 事 名 那覇地家裁平良支部庁舎空調設備改修工事（電子入札対象案件）
- (2) 工事場所 沖縄県宮古島市平良字西里345
- (3) 工事内容

ア 建物用途 裁判所庁舎

イ 構造・階数及び建物規模

庁舎 鉄筋コンクリート造 地上3階建

建築面積 約616㎡ 延べ面積 約1,722㎡

ウ 敷地面積 約1,166㎡

エ 工事内容 管工事（空調設備改修）

- (4) 工期 契約締結日の翌日から平成23年3月31日まで
- (5) 本件工事は、入札時に簡易な施工計画等の提案を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型）の工事である。（入札説明書参照）
- (6) 本件工事は、資料の提出、入札を電子入札システムで行う対象工事である。ただし、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承認を得て紙入札方式に代えるものとする。

なお、紙による入札を希望する場合は、紙入札方式による参加申請書を競争参加資格の申請書、資料及び技術提案書の提出期限前までに提出し、第1回目の入札書締切発行日前までに福岡高等裁判所事務局長の承認を得ること。

紙入札方式による参加申請書については、最高裁判所ホームページ 調達・公募情報 工事・公表 電子入札システム（工事） 運用基準（PDF）の別紙様式第1を参照してください。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 裁判所の平成21・22年度における建築工事の一般競争（指名競争）参加者資格のうち、管工事の資格区分においてA、B又はC等級の認定を受けている者であること。ただし、会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てがあった者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがあった者については、手続開始の決定後、最高裁判所が別に定める手続に基づく一般競争（指名競争）参加者資格の再認定を受けている者であること。
- (3) 会社更生法に基づく更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法の再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 沖縄県又は隣接県に建設業法（昭和24年法律第100号）の規定に基づく本店、支店又は営業所を有すること。
- (5) 平成12年度以降に、次の基準を満たす建物改修工事又は建物新営工事を元請けとして施工し、完成・引渡しまでを完了した実績を有すること（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）第2条第2項に規定する公共工事における工事成績の評定点（以下「工事成績評定点」という。）が65点未満のものを除く。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

ア 建物用途：庁舎、事務所又は類似施設。なお、類似施設とは、事務室、会議室、研修室、

人文科学系研究室及びこれらに類する室(いずれも空気調和施設を有する部分に限る。)の面積(これに付随する共有部分を含む。)が当該施設の延べ面積の過半数を占める施設を指す。

イ 構造・階数：鉄骨造(軽量鉄骨造を除く。),鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階建以上

ウ 建物規模：延べ面積200㎡以上

エ 工事種目：管工事

(6) 施工計画(技術的所見)が適正であること(詳細は入札説明書参照)。

(7) 次の基準を満たす主任技術者又は監理技術者(以下「配置予定技術者」という。)を配置できること。

なお、建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条第1項に該当する場合は、当該技術者は専任でなければならない。

ア 一級管工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお、同等以上の資格とは、技術士(機械部門(選択科目を「流体工学」又は「熱工学」とする者に限る。))上下水道部門、衛生工学部門又は総合技術管理部門(選択科目を「流体工学」、「熱工学」、「上下水道部門」又は「衛生工学部門」とする者に限る。))に合格した者)技術士法施行規則の一部を改正する省令(平成15年文部科学省令第36号)による改正前の技術士法施行規則(昭和59年総理府令第5号)に定める技術士(機械部門(選択科目を「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」とする者に限る。)),水道部門又は総合技術管理部門(選択科目を「流体機械」、「暖冷房及び冷凍機械」、「水道部門」又は「衛生工学部門」とする者に限る。))に合格した者)又は国土交通大臣若しくは建設大臣から一級管工事施工管理技士と同等の能力を有すると認定された者をいう。

イ 平成12年度以降に(5)の基準を満たす工事の経験を有する者であること。

ウ 競争参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)の提出期限の日において、申請者と3箇月以上の雇用関係にあること。

エ 監理技術者資格者証を有する者であること。

オ 監理技術者として配置する場合には、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。なお、「これに準ずる者」とは、以下の者をいう。

(ア) 平成16年2月29日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者。

(イ) 平成16年2月29日以前に監理技術者講習を受けた者であって、平成16年3月1日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者である場合には、監理技術者資格者証及び指定講習受講修了証を有する者。

(8) 申請書及び競争参加資格確認資料(以下「資料」という。)の提出期限の日から開札の時までの期間に、福岡高等裁判所管内において、最高裁判所から指名停止措置を受けていないこと。

(9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと(資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。)(入札説明書参照)

(10) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、裁判所発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

3 総合評価落札方式に関する事項

(1) 総合評価落札方式の仕組み

本件工事の総合評価落札方式は、標準点100点(入札説明書に示された内容を満たしている場合に付与する点数をいう。)に加算点20点(2(6)に関する提案(以下「技術提案」という。)など以下に示す評価項目に応じて付与する点数をいう。)を加え、評価値を算出し落札者を決定する方式とする。

その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準点については、

入札説明書において明記している。

(2) 評価項目

以下に示す項目を評価項目とする。

- ア 技術提案（簡易な施工計画）に関する事項
- イ 企業の施工能力に関する事項
- ウ 配置予定技術者の能力に関する事項
- エ 地域精通度に関する事項

(3) 評価の方法及び落札者の決定

入札参加者の技術提案による評価項目（評価指標）を評価し

$$\text{評価値} = \{ (\text{標準点} + \text{加算点}) / (\text{入札価格}) \}$$

の最も高い者を落札者とする。

落札の条件は、次のとおりとする。

- ア 入札価格が予定価格の制限範囲内であること。
- イ 提案内容が発注者の設定している最低限の要求要件を下回らないこと。
- ウ 評価値が、標準点（100点）を予定価格で除した数値に対して下回らないこと。

(4) 上記(3)において、評価値の最も高い者が2人以上ある場合は、くじにより落札者を決定する。

4 入札手続等

(1) 担当部局

〒810-8608 福岡市中央区城内1番1号
福岡高等裁判所事務局会計課営繕係
電話092-781-3141（内線2212）

(2) 入札説明書の交付期間、場所及び方法

ア 交付期間

平成23年1月31日（月）から平成23年2月24日（木）まで（裁判所の休日に関する法律（昭和63年法律第93号）第1条に規定する裁判所の休日（以下「休日」という。）を除く。）の午前9時から午後5時まで

イ 交付場所

(1)に同じ

ウ 郵送による交付を希望する者は、返信用の封筒（CD-R 1枚が入る規格で表に住所及び氏名を記載し、所定の切手を貼付したもの）を平成23年2月8日（火）（必着）までに(1)に送付すること。

(3) 申請書、資料及び技術提案書の提出期間、場所及び方法

ア 提出期間

平成23年1月31日（月）から平成23年2月10日（木）まで（休日を除く。）の午前9時から午後5時まで

イ 提出場所 (1)に同じ

ウ 提出方法

電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は、アの提出期間内に持参又は郵送（書留郵便に限る。提出期限内必着）すること。

(4) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法

入札書は、電子入札システムにより提出すること。ただし、発注者の承諾を得た場合は、紙により持参すること。

ア 電子入札システムによる入札の締切は、平成23年2月25日（金）午前10時とする。

イ 持参による入札の受領期限は、平成23年2月25日（金）午前10時までとし、福岡高等裁判所4階事務局会計課営繕係にて入札すること。

ウ 開札は、平成23年2月28日(月)午前10時に福岡高等裁判所4階入札室にて行う。

5 その他

- (1) 手続において使用する言語等 手続において使用する言語は日本語、通貨は日本円、時間は日本の標準時、単位は計量法(平成4年法律第51号)による。
- (2) 入札保証金及び契約保証金
 - ア 入札保証金 免除
 - イ 契約保証金 納付(保管金の取扱店 日本銀行福岡支店)。ただし、利付国債の提供(保管有価証券の取扱店 日本銀行福岡支店)又は銀行、金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
- (4) 技術資料の施工計画等に基づく採否については、競争参加資格の確認の通知に併せて通知する。なお、参加資格の確認の通知において、技術資料の施工計画等に基づく施工計画により競争参加資格を認められた者は当該提案に基づく入札を行う。
- (5) 落札者の決定方法 予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で、上記3(3)に定めるところに従い評価値の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で、発注者の定める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。
- (6) 配置予定監理技術者の確認 落札者決定後、工事実績情報システム(CORINS)等により配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を結ばないことがある。なお、長期入院、死亡、退職等極めて特別で、やむを得ないものとして承認された場合の外は、資料の差替えは認められない。
- (7) 手続における交渉の有無 無
- (8) 契約書作成の要否 要
- (9) 当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無
- (10) 関連情報を入手するための照会窓口 上記4(1)に同じ。
- (11) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加 上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記4(3)により申請書、資料及び技術提案書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (12) 詳細は入札説明書による。